武庫川渓谷・西宮名塩〜武田尾・冬季の自然観察会のご案内 自然と文化科・観察委員会

近年、ハイキング道として整備された武庫川渓谷・JR西宮名塩駅から武田尾駅までの旧福知山 線廃線跡をたどり渓谷の景観と厳冬期の樹木達の生き様を観て歩きたいと思います。

- 1. 期日 H. 31.1.25(金) 雨天中止 (当日の朝のNHK画面で兵庫南部午前の降水確率が50%以上の場合は中止します)
- 2. 集合場所及び時間

JR 西宮名塩駅改札口前 10:00

3. 服装及び所持品

軽ハイキングスタイルで可、(ただし寒冷な場所ですので防寒対策は十分に) 観察用具 (ルーペ)、雨具、懐中電灯(必須)図鑑など、昼食及び飲料

4. 観察ルート

JR名塩~武庫川右岸の旧福知山線廃線跡~上流方向へ~武庫川左岸~桜の園~武田尾集落・駐車場付近(WC)~温泉橋を渡る~武庫川右岸を上流方向へ ~ 上流の紅葉橋から左岸へ ~ JR 武田尾(解散)

- ・ 昼食の場所は 桜の園前の広場を予定。
- 5. 交通情報

JR 宝塚線・西宮名塩には快速も停車します。

 大阪
 宝塚
 西宮名塩

 9:21 9:47 9:50 (快速)

 9:38 9:43

武庫川渓谷の自然 (西宮名塩~武田尾間)

地形 約100万年前に起こった六甲変動と同時期にこの地域も隆起し、これに対抗して武庫川が穿刻し、 流路がそのまま残る特異な先行河川が形成された。

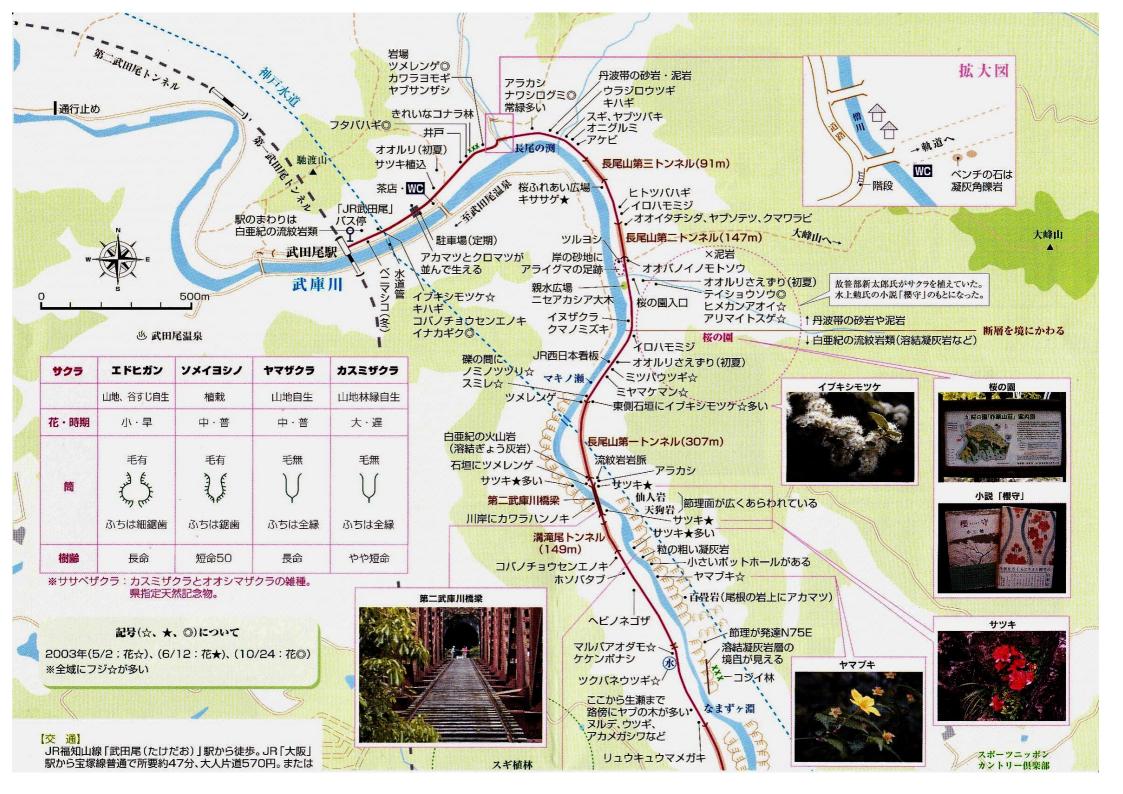
地質 溶融凝灰岩等を主体とする流紋岩類からなり、有馬層群と呼ばれる。これは1億年ほど前の白亜 紀に火山噴出物が堆積したと考えられている。

自然景観 武庫川下流のV字谷の景観資源的価値と植生の自然価値の両面から評価されている。

植物群落 洪水が繰り返し発生する環境で岩上植物群が生息している。また、有馬層群特有の貴重な植物が見られる。

以上

1



JR | 北新地」駅から学研都市線快速に乗り | 川西池田」駅で 宝塚線普通に乗り換える。帰りは「西宮名塩(にしのみやな じお)」または「生瀬(なまぜ)」駅から、「大阪」または「北 新地 | 駅まで、片道480円。(運賃は2006年6月1日現在)

「武田尾」駅から武庫川沿いに下流に向かって歩く。駅から 1.5kmの桜の園あたりまでは車道と二つのトンネルを通る ハイキング道となっているが、そのあと枕木が残る廃線軌道 となりトンネルが続く。「西宮名塩」または「生瀬」駅まで約 6.6km。

【地形図】

2万5千分の1「武田尾」、一部分「宝塚」

【みどころ】

現在のJR宝塚線の名塩トンネルが開通するまで武庫川 の峡谷にそって走っていた旧国鉄福知山線の廃線軌道ぞ いのコース。このコース沿いは、中生代白亜紀の火山岩 でできた山地を武庫川の急流がうがち、急峻な絶壁が連 続する。谷沿いには渓谷の植物であるサツキが帯のよう に自生し、道の両側は植物がいっぱいで春から秋までい ろいろな花や紅葉を楽しむことができる。

【注意点】

廃線軌道跡は、JR西日本が通行を認めているわけではあ りません。個人の責任で判断してください。廃線敷なので 道は平坦ですが、ハイキング用の道ではないので注意が 必要です。景色にみとれても足下の安全には気を抜かな いでください。

トンネル内は懐中電灯が必需品です。暗い中では、懐中電 灯の光はけっして人の顔に向けないで足下を照らすだけ にしてください。他人の事故の原因となります。

天候が悪い時、落石・転落には十分に注意してください。

※道の端を歩かない(川へ落ちます)。 ※ライト持参のこと。

【執筆者】

石井 久夫、梅原 徹、道盛 正樹、和田 岳、金沢 至

